

スキルインフォメーションズ

代表取締役社長 杉本浩さん (49)

①



「ビジネスアイデア豊富な杉本さんは、携帯電話向けデコメールへのフォント提供、Web上での無料書きフォントサービスなどのプレゼンを行ったが、日本では馴染みの薄かった文字フォントについて、残念ながらその良さと技術の革新性を伝えきれず、事業としては上手くいかなかったようである。

そこで、杉本さんが一念発起して取り組んだのが、今回の受賞に繋がった文字フォントのコンテンツ作成サービス「フォントウィザード」であった。

腹に苦勞の連続だったと当時のことを語ってくれた。

「開発当初、この商品は法人向けコンテンツとして世界へ挑戦できると直感した杉本さんであったが、自身の思いとは裏

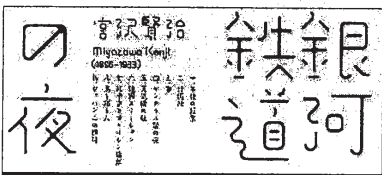
スキルインフォメーションズの杉本さん「写真」が、近畿経済産業局などが主催する西日本最大のコンテンツビジネス展示商談会「大阪創造取引所」で、初のクリエイティブ・アイデア賞を受賞した。

受賞した文字フォントのコンテンツ作成サービスは、停滞する国内経済を見越して国際的に通用する商品を探している中で生まれたもので、文字フォント作成の高い知見を持つ片岡正さん(現・同社フォント事業部部長)との出会いがきっかけだったと言

スキルインフォメーションズ

代表取締役社長 杉本浩さん (49)

②



「今後の世界戦略としては、例えば、携帯電話で利用できる書きの漢字・ひらがな・ハングル文字、iPadなど電子書籍サービス分野など際限がない。海外では日本語自体がデザインとしてTシャツやマグカップなど商品に入れられたりしており、漫画・アニメ以外のコンテンツとしても注目を集めている。杉本社長は「このオリジナルフォント作成サービスを、国内のみならず海外での市場を見据えたサービスとして、同社の事業の柱として位置づけていく」と今後の夢を語ってくれた。

「フォントウィザードは、オリジナルなフォント(字体)作成を、従来のコスト・時間の10分の1にできる画期的なサービスです」と杉本さんは言う。海外では、コーポレート・アイデンティティ(CI)を行う場合は会社フォントを作成するのが一般的とのことで、今後、この分野での国内外の市場獲得に自信をうかがわせていた。

また、日本で普及しなかった大きな要因は、コストだけでなく文字の数にもあったようだ。海外は、文字数がアルファベット26文字(小文字を入れても52文字)だけだが、日本では漢字約6800文字に加え、ひらがな・カタカナを必要とし、これが大きな障壁となっていたようである。

CI以外にも契約書の真贋判別用途などコンプライアンス方面への応用等範囲も多様である。

「フォントウィザードは、オリジナルなフォント(字体)作成を、従来のコスト・時間の10分の1にできる画期的なサービスです」と杉本さんは言う。海外では、コーポレート・アイデンティティ(CI)を行う場合は会社フォントを作成するのが一般的とのことで、今後、この分野での国内外の市場獲得に自信をうかがわせていた。

また、日本で普及しなかった大きな要因は、コストだけでなく文字の数にもあったようだ。海外は、文字数がアルファベット26文字(小文字を入れても52文字)だけだが、日本では漢字約6800文字に加え、ひらがな・カタカナを必要とし、これが大きな障壁となっていたようである。

大阪市東淀川区東中島1の17の26 スキルインフォメーションズビル ☎06・6320・4199  
 事業内容：フォント(字体)コンテンツ・作成事業 / 医療ソフトウェア開発事業  
 URL：http://www.sic-net.co.jp